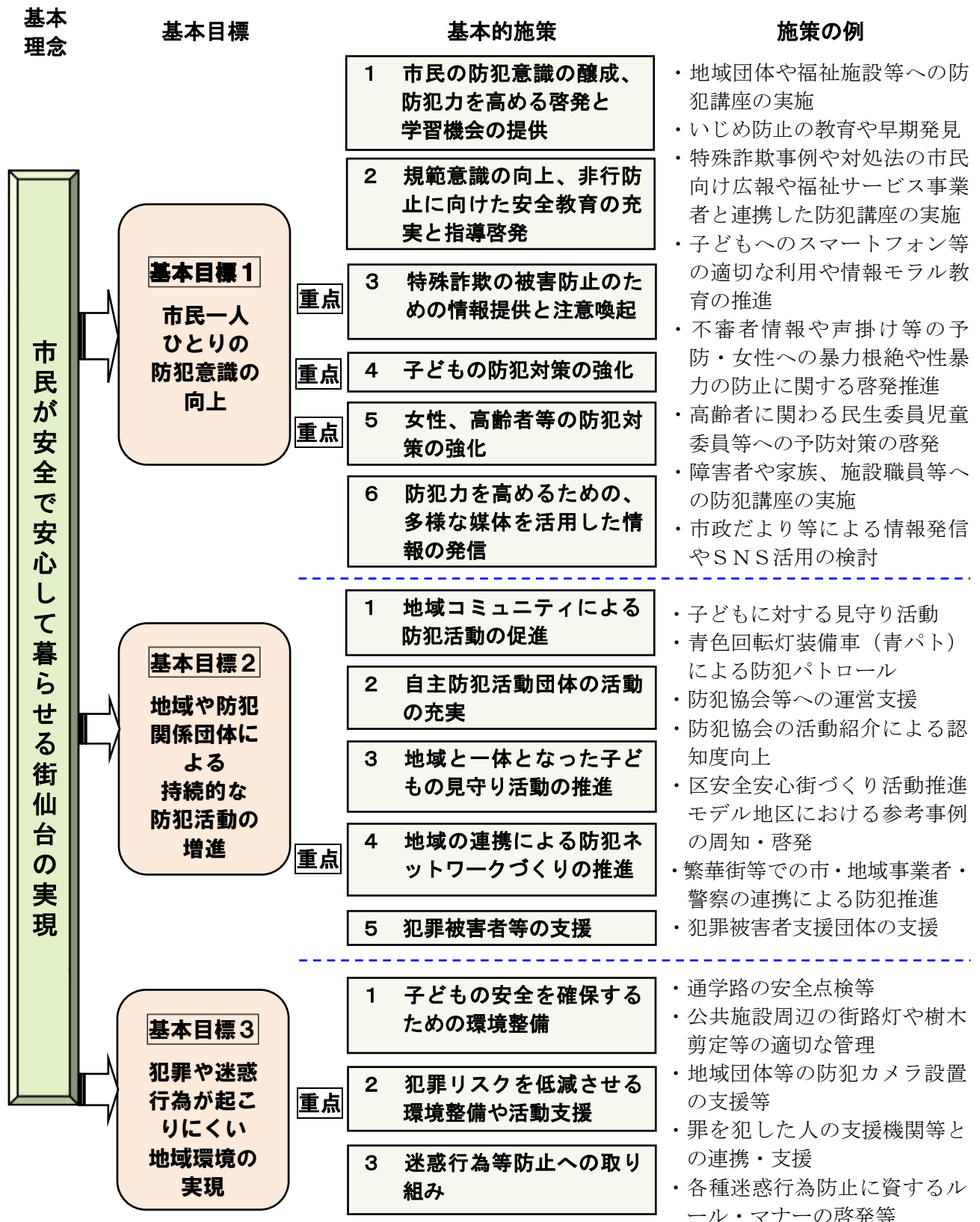


第4章 安全安心街づくりを推進するための施策

1 施策の体系



基本的施策 5

犯罪被害者等の支援

【主な取り組み】

(1) 犯罪被害者等の支援《担当：市民局》

- ① 犯罪被害者や家族が置かれた困難な立場を市民に理解してもらうために、警察や関係団体と連携し、「犯罪被害者週間」を活用する等様々な機会を捉えた啓発を行います。【市民生活課】
- ② ドメスティック・バイオレンス(※1)やストーカー等の被害者に対し、住民基本台帳閲覧制限等及び選挙人名簿閲覧制限等支援(※2)を行います。【戸籍住民課】
- ③ 消費生活トラブル等による被害の回復のための相談においては、警察や弁護士会等との連携・情報共有を図ります。【消費生活センター】
- ④ 犯罪被害者等の相談や直接支援等に取り組む犯罪被害者支援団体の活動を支援します。【市民生活課】
- ⑤ 犯罪被害者等の支援については、情報及び給付制度を有する警察や、対応のノウハウを有する犯罪被害者支援団体、市の関係する部局が連携して対応します。【市民生活課】
- ⑥ 犯罪被害者等支援総合相談窓口により、各種支援施策の情報提供や関係機関等の紹介などを行うことで、被害者及び家族の適切な支援につなげます。【市民生活課】

※1 ドメスティック・バイオレンス（DV）

配偶者やパートナーなど親密な関係にある者（過去にそのような間柄にあった者も含む）から振るわれる暴力のこと。

※2 住民基本台帳閲覧制限等及び選挙人名簿閲覧制限等

配偶者からの暴力及びストーカーの被害者が住居を移転した場合、その居所を知ろうとする加害者から被害者を保護することを目的として、被害者からの申し出に基づいて、住民基本台帳や選挙人名簿の一部を閲覧すること等を制限する等の措置を講ずるもの。